

令和4年度 鹿児島県特別支援教育研究会の取組の経過報告と今後の予定

鹿児島県特別支援教育研究会
会長 喜岡 達也

1 主な研修会開催計画

期日	主な行事
令和4年8月4・5日(木・金)	夏季研修会
令和4年11月25日(火)	県大会川薩大会
令和5年1月7日(土)	冬季研修会

2 主な研修会の概要(※申し込み人数は、県事務局員等スタッフの人数を除く)

(1) 研修会名(夏季研修会)

講師	川上 康則 氏(東京都立矢口特別支援学校) 森川 正樹 氏(関西学院初等部) 菊池 哲平 氏(熊本大学)	申込人数	650人
実施形式	1 集合研修 ②リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	「子ども理解の守備範囲を広げ、対応力を高める」(川上 康則 氏) 「どの子どもも考え、前のめりになる国語授業の作り方」(森川 正樹 氏) 「(午前の部)これからの特別支援学校が目指す教育」(菊池 哲平 氏) 「(午後の部)小中学校でのインクルーシブ教育の展開」		
概要	2日間の研修を通し、子どもの自己選択・自己決定を尊重する支援の在り方やユニバーサルデザインの基本的な考えと実践などについて学ぶ機会となった。リモート形式ではあったが、チャット機能等を活用し、双方向のやり取りを通し、情報共有しながら研修を深めることができた。		

(2) 研修会名(県大会川薩大会)

講師	中山 健	申込人数	76人
実施形式	①集合研修 ② リモート研修 ※複合型研修 3 その他(資料配布等)		
演題	「共に新しい時代を築く力を育む特別支援教育の推進」 ～子供一人一人の学びを支え、学びの連続性を推進する特別支援教育を目指して～		
概要	今年度は、実際に参観する場合とリモートを通して参観する場合の2つの参観形態で県大会を実施した。各校の特色ある日々の取組や授業実践について、分科会を通して情報交換することができた。特別支援教育に関する理解を深める機会となった。		

(3) 研修会名(冬季研修会)

講師	古村 洋介 氏 (県総合教育センター特別支援教育研修課) 別府 亮太 氏(鹿児島市立田上小学校) 中原 光朗 氏(霧島市立宮内小学校)	申込人数	70人
実施形式	①集合研修 2 リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	「特別支援学級と交流学級の連携のあり方」(古村 洋介 氏) 「自立活動について」(別府 亮太 氏) 「指導要録の書き方、評価の視点」(中原 光朗 氏)		
概要	三つの分科会を午前・午後の二部制にし、参加者が選択して受講できるかたちで研修会を実施した。三名の先生方に交流及び共同学習や自立活動の実践や、指導要録の記入などについて御講話いただいた。これまでの経験豊富な実践を基にした事例から、御講話いただき、会員の資質向上につなげることができた。		

(4) 研修会名(離島研修会)

講師	久木田 雅義氏 (洛南高等学校附属小学校講師)	申込人数	40人
実施形式	①集合研修 2 リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	「UD マインドでつながる算数授業のユニバーサルデザイン」(久木田雅義)		
概要	「すべての人のために」というユニバーサルデザインの考えを基にした算数の授業実践から,教科における UD 目線の支援の在り方を学ぶことができた。集合研修の形で実施したことにより,講師と参加者のやり取りがスムーズに行われ,質疑応答等も活発なものとなった。		